

令和3年度 第2回鹿嶋市総合教育会議 議事録

市長：パターン2の方向でというのが事務局の意向かと思うがどうか？

委員：パターン1がいいと個人的には思っている。事務局とのやり取りで意見を入れていただいている。基本理念のキャッチフレーズはいいとは思いますが、第一印象として「描く」という言葉が、子供たちの動きが感じられない、弱い印象。前回の「未来を創る」が一番合う気がするが、「地域を創る」に「創る」を使ってしまうので、未来を翔る、未来を拓く、未来を築くといった、子供たちの主体的能動的な動きのある言葉がいいとは思う。「地域を愛し」にしても良い。アクティブラーニングのように、主体性が求められているので、印象としては未来を描くは弱い気がする。

委員：私も未来を描くというのは、子どもの主体性、動きが弱いと感じる。「未来にはばたく」や「築く」などの能動的なものがいい。地域に続く言葉は、「地域を愛し」というのもいいのではないか。

市長：私の思いとしては、子どもたちに、自分の故郷に自信と誇りを持ってもらい、将来は好きな鹿嶋のために働き、鹿嶋を背負ってもらおう子になってもらいたい。ふるさとのために働く子供たちになってほしい。そのために、歴史などを学んでもらいたいという気持ちがある。鹿嶋の未来を背負って立つ、そういうものが「未来を拓く」というような言葉に包含される気がする。「未来を拓く」というものを提案したい。

委員：第一印象で、「描く」は弱い気がする。切り拓く、拓く、のような主体的なものがいいと思っている。

委員：切り拓くだとゴロが合わないので「拓く」がいいのではないか。

委員：言葉の並びを考えると「拓く」がいいと感じていた。しかし、事務局の意図として描くにしたとは思いますが、描くは構想を練るだけで終わってしまい、子供の動きが反映されていない。「拓く」もありふれた言葉なので、未来にはばたくが良いのでは？主体的、能動的な言葉がいいと思う。

基本方針は、パターン2のほうが、パッと見たときに大きな具体的に何がやりたいのか、項目ごとに羅列されていてわかり易い。

パターン1だと、4番目の方針の内容が多すぎる気がする。インパクトが弱い、どこを強調しているのかわかりにくい印象。個人としてはパターン2がいいと思う。

委員：私は、方針7つは多すぎる気がする。もう少しシンプルなほうがいいのではと思う。前回の協議で、あまり大きく変えるのはどうかという意見があったが、シンプルなほうがいい。パターン2にするのであれば、基本方針1の中の「確かな学力の習得」の部分に読解力、表現力、推理能力といった定義も入れてほしい。また、これからますます必要になる環境に関する教育を入れてほしい。防災の教育も必要だと思う。また、鹿嶋市の強みは歴史伝統だけでなく、産業・工業も核となっている。是非教育にとりいれていくべきだと思う。

市長：学力の基本である読み書き、そして環境問題、SDGs、みんなで考えなければいけない問題。子どもたちから親が学ぶということも考えられるので、それを教育に盛り込むことも大事。

事務局：地域資源にも目を向けるという意見、盛り込んではあるが読み取れないのであれば、表現を工夫する。

委員：パターン2にするのであれば盛り込んでほしい。

委員：パターン1のほうもインパクトあるが、基本方針4の家庭地域学校の連携の部分はボリュームが多い。読む方の立場を考えると工夫が必要で、パターン2のほうがわかり易い。

委員：パターン2も項目をまとめられる部分があると思う。もう少しシンプルにできると思う。

教育長：基本方針にすべてを網羅する必要はない。必要なものが入って入れればいい。大枠だけ決めれば、教育振興基本計画など実施編があるので、うまくリンクすればいいと思う。

方針7つが多いとのことだが、分野別になっているので多いとは思わない。できればパターン2であるとありがたい。

市長：パターン1のいいところを取り入れながら、パターン2に盛り込むということで承認を。

【異議なし】

市長：「未来を」の部分、「拓く」がいいとは思いますが、言葉のイメージ、意味、語感もある。拓くについて、信楽委員からもコメントいただいた。副市長の意見は？

副市長：地域が育て 地域が守り育てる，地域を創る 成長した子が地域を創る
未来を描き 次の世代が地域を描き新たな社会をつくる
というサイクルの循環のイメージを持っている。私は描くで良いと思う。

市長：鹿嶋っ子というイメージ，子どもに限定される印象

副市長：鹿嶋っ子の概念は，子どもも大人もとしていた。

委員：鹿嶋人だと大人を指しすぎる。教育のスタートである子どもを意識して鹿嶋
っ子とした。

市長：私自身は，鹿嶋っ子は子どものイメージだったので，拓くというイメージに
なった。

委員：「江戸っ子」と同じ意味合いだという認識。やはり子どもたちへの思いを込め
ると，躍動的な言葉が良いと思った。

委員：私も「鹿嶋っ子」は子どもの印象だったが，大人も含まれているとのこと。
鹿嶋っ子の捉え方で未来に繋がる言葉が変わってくるのではないか。子どもだけを
指すのであれば，子ども自身が自分の未来を創っていくイメージだが，大人も含む
広い概念だと捉えると，これからの子どもたちの未来をみんなで描くということに
なる。

委員：わかっている人にはわかるが，一般的には，子どものイメージが強いのでは
ないか。

委員：江戸っ子は広くとらえられる。

委員：教育，鹿嶋っ子というと子どもをイメージする。

市長：未来を託す子どもを育てたいということが言いたい。

委員：基本理念については，後は事務局で集約してもらうのはどうか。
基本方針は，私はやはりパターン2が良いと思う。読む方がわかり易い。
また，他に先んじて，地球環境の問題をとらえるような項目を入れたほうが良いと
思う。鹿嶋では，学校教育にこんなことまで取り入れているんだということを示し
たい。

委員：鹿野中での SDG s の事業など，鹿嶋市は環境教育に力を入れていると感じる。公立私立を問わず市で環境教育をしているのであれば，環境を取り入れたほうがいい。

委員：洋上風力発電など，今からの子どもたちには，もっと環境に目を向けていってほしい。

市長：SDG s ，環境，具体的にきちっと大事な問題として認識している，子どもに伝えていくよう，わかり易く文言を修正する必要がある。

事務局：パターン 2 背景の部分で環境問題に触れるなど修正する。地域資源についても，郷育の部分でもう少し加筆する。

委員：郷育の中に，産業を学ぶということも盛り込んでもいいと思う。

委員：再エネに取り組むような子供も創っていきたいという思いがあるので，環境を入れてほしいとした。産業も EV の時代。人的資源を日本は育てていく，そういう子どもを鹿嶋から育成していきたいと考えている。

委員：確かな学力の定義については，国が示している表現を取り入れたほうが良い。

委員：前回資料に入っていた，中教審の出しているもので良いのでは？

事務局：基本理念については，市長から「拓く」という言葉があったので，事務局として「拓く」で調整する。今回で大枠確定とし，事務局で修正し，1月にパブコメ。事前に調整させてもらう。

市長：事務局で粛々と進めること。